

“誰もが住みやすく、安全・安心で

活気のあるふるさとづくり”を目指して

新島地区（湖東小学区・新島小学区）

地域まちづくり計画



新島地区まちづくり協議会

目 次

第1章 はじめに

- 1 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4 計画の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 新島地区の概要とまちづくりの主要課題

- 1 地区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 地域住民の意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - ★第1回小学校区別まちづくり座談会開催結果・・・・ 7
 - ☆湖東・新島地域まちづくりアンケート調査結果・・ 10
- 3 新島地区の主な課題・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 4 香取市総合計画・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

第3章 新島地区が目指す将来像

- 1 まちづくりの全体テーマ（地区の将来像）・・・・ 19
- 2 分野別の基本方針及び活動目標・・・・・・・・ 20

第4章 将来像の実現に向けた施策

- 1 基本施策と活動例・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 2 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

私たちが住んでいる湖東小学区及び新島小学区（以下「新島地区」という。）は、農業を中心とした産業と恵まれた自然環境に囲まれた地域で、人々も比較的平穏な生活を営んできました。

しかし、新島地区全体としてのあるべき姿が明確でないまま、今日に至ってきたと思われます。

今回、策定した「地域まちづくり計画」は、新島地区全体として、どのような「地区」であるべきか、地域住民のみなさんとともに考え、実践するための指針として作成したものです。

今後、当計画の具現化に向けて、「新島地区まちづくり協議会」（以下「協議会」という。）を中心に、皆様のご支援・ご協力をいただきながら、積極的に活動を進めていきたいと思えます。

2 計画の位置づけ

本計画に掲げる施策（活動）等の実践については、直ちに、地域や協議会の体制・環境を整えられるものでなく、また、行政のように全て予算的裏付けを持てるものでもないことから、この計画は、今後の方向性や活動指針といった意味も含めた計画として位置付けることとし、年次的な優先順位付けを行わず、活動体制や取り組むことのできる環境が整ってきたものから順次取り組んでいくこととします。

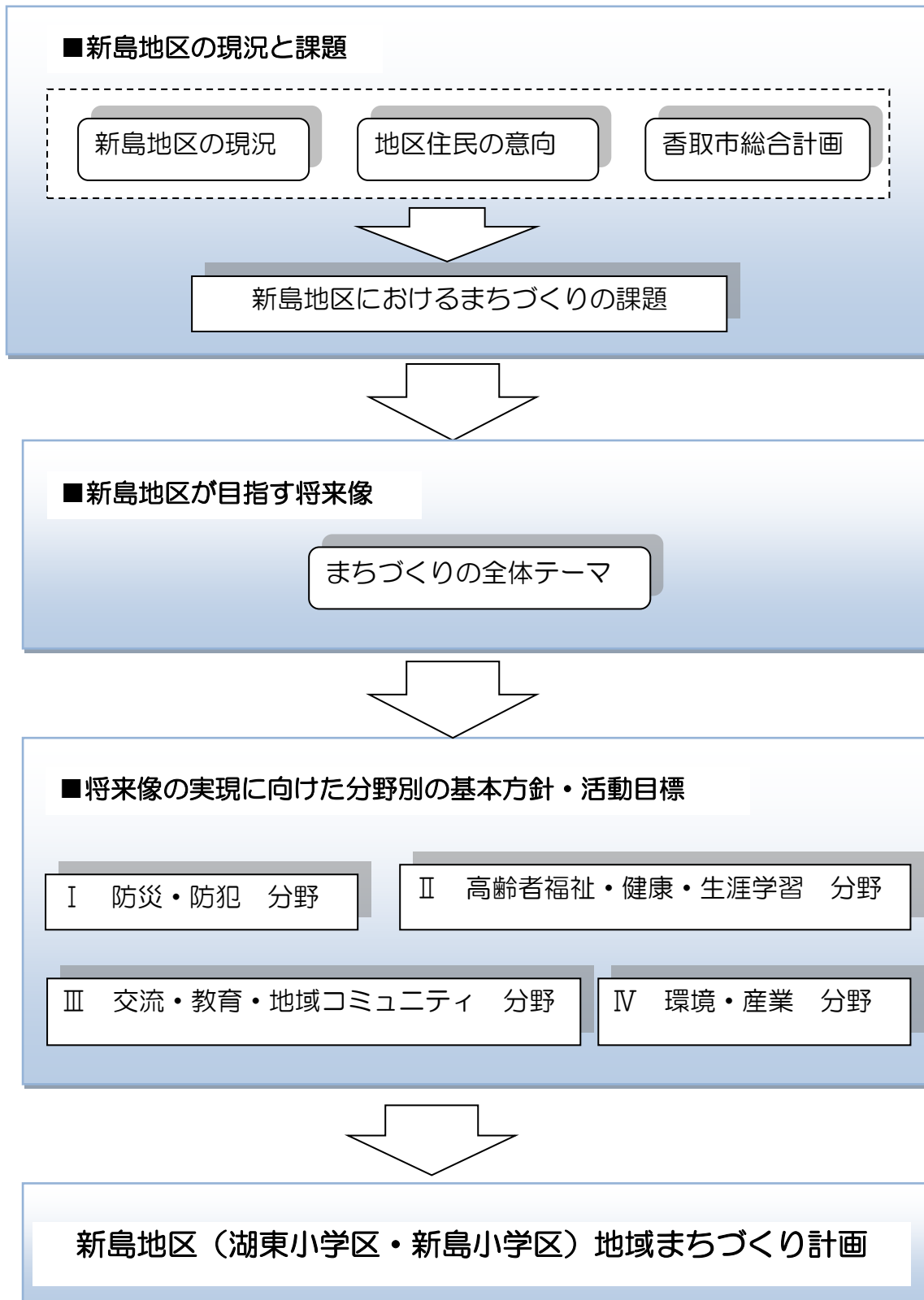
3 計画の期間

概ね10年後の新島地区の将来像を想像し、その実現に向け、様々な取り組みを行います。

10年後の地区の将来像を実現するために、また、実際に協議会の活動にご協力いただく住民の皆さんの負担とならないよう、無理のない範囲で、できる活動から始め、徐々に活動の多様化を図っていくこととします。

なお、具体的には毎年策定する各年度の事業計画及び予算において実施内容などを示していくこととします。

4 計画の構成



第2章 新島地区の概要とまちづくりの主要課題

1 地区の概要

新島地区は、明治22年の町村施行に伴い、八筋川、大島、三島、境島、扇島、加藤洲、磯山、附洲新田、公官洲新田の9カ村によって、新島村（明治の大合併）が構成されました。

その後、昭和30年に佐原市に編入され、平成18年の合併による香取市（平成の大合併）へと行政区域は拡大してきましたが、これまで一つのまとまった地域として歩んできました。

現在は、八筋川、本津、大島、三島、境島、扇島第1、扇島第2、与田浦、加藤洲第1、加藤洲第2、磯山、加藤洲下の洲、扇島下の洲、市和田、附洲新田の計15の自治会で構成されています。

（1）地区データ

		平成3年	平成13年	平成23年	増減率 (H3/H23)
人口	佐原区	51,068	49,661	44,809	-12.3%
	新島小区	2,773	2,576	2,239	-19.3%
	湖東小区	1,358	1,236	1,108	-18.4%
	新島地区	4,131	3,812	3,347	-19.0%

	0歳～14歳	平成3年	平成13年	平成23年	増減率 (H3/H23)
年少人口	佐原区	9,164	6,912	5,033	-45.1%
	新島小区	505	354	211	-58.2%
	湖東小区	275	154	115	-58.2%
	新島地区	780	508	326	-58.2%

	15歳～64歳	平成3年	平成13年	平成23年	増減率 (H3/H23)
生産年齢人口	佐原区	34,090	32,109	27,690	-18.8%
	新島小区	1,862	1,611	1,371	-26.4%
	湖東小区	787	765	694	-11.8%
	新島地区	2,649	2,376	2,065	-22.0%

	65歳以上	平成3年	平成13年	平成23年	増減率 (H3/H23)
老年人口	佐原区	7,814	10,640	12,086	54.7%
	新島小区	406	611	657	61.8%
	湖東小区	296	317	299	1.0%
	新島地区	702	928	956	36.2%

		平成3年	平成13年	平成23年	増減率 (H3/H23)
高齢化率	佐原区	15.3%	21.4%	27.0%	76.3%
	新島小区	14.6%	23.7%	29.3%	100.4%
	湖東小区	21.8%	25.6%	27.0%	23.8%
	新島地区	17.0%	24.3%	28.6%	68.1%

(2) 地 勢

新島地区は、常陸利根川や横利根川を挟んで茨城県（稲敷市、潮来市）と接する香取市域の北部に位置し、食料生産基地としての機能を持つ水田地帯と豊かな水辺環境の「水郷」が広がる、豊かな自然が息づく地域です。

(3) 交 通

道路としては、幹線道路の県道佐原潮来線や市道が走っています。

公共交通としては、地域内にJR鹿島線の十二橋駅や東京駅間を約2時間で結ぶ高速バスの停留所があるほか、路線バスと佐原循環バス（北佐原・新島ルート：毎週月・火・木・金曜日運行）が走っています。

(4) 歴史・文化

扇島区の「おらんだ楽隊」が千葉県指定文化財（民俗・無形民俗）として登録されているほか、水神社や寺院なども数多く残されていて、歴史的にも文化的にも誇ることのできる地域です。

(5) 地域資源

新島地区は、下記に掲げるような多様な地域資源を有しています。

①歴史・文化・祭り

☐おらんだ楽隊、水神様、天王様、観音様、・・・・

②自然

☐水郷筑波国定公園を形成 ☐与田浦などの豊かな水辺環境
☐加藤洲十二橋水路周辺の芝桜 ☐田園、☐白鳥、鷺、カワセミ、
☐鴨などの野鳥、☐榎塀、・・・・

③産業・特産品

☐農業 ☐米 ☐いちじく ☐あやめ ☐漁業、・・・・

④観光地・交流の場等の施設

☐水郷佐原水生植物園 ☐県立中央博物館大利根分館
☐加藤洲十二橋 ☐与田浦運動広場 ☐与田浦周辺、・・・・



2 地域住民の意向

現在、私たちを取り巻く環境は、少子高齢社会の急速な進行に加え、国や自治体の厳しい財政運営や長引く経済情勢の低迷、さらには、東日本大震災からの復興・復旧など、あらゆる面で厳しい社会情勢となっています。

新島地区においても、今後、地域の子どもたちや高齢者をどう支えていくか、あるいは災害時にどう対応していくかなど、様々な課題が山積しつつあります。

この地域に住む私たちは、その現実を知り、それに伴う将来を見据え、未来の子どもたちへ豊かな地域を守り、引き継ぐために、今できることから取り組みを始めることが必要となります。

そこで、本協議会では、私たちが願う将来の新島地区はどうあるべきか、今後取り組むべき活動等について、次のとおり、「第1回小学校区別まちづくり座談会」及び「住民まちづくりアンケート調査」を実施し、地域の多くの皆さんから寄せられた意見を参考にして、私たちが暮らす新島地区の今後のあり方を検討することとしました。

■ 第1回小学校区別まちづくり座談会

- (1) 開催日時：平成24年2月24日（金） 午後7時～9時
- (2) 開催場所：（湖東小学校区）八筋川公民館
（新島小学校区）新島小学校家庭科室
- (3) 参加者：42名
- (4) 開催内容：7～9ページのとおり
※開催結果の詳細については、資料編3～14ページ参照

■ 住民まちづくりアンケート調査

- (1) 調査期間：平成24年2月～3月
- (2) 回答者数：1,116名
- (3) 調査結果：調査の結果と分析については、10～15ページのとおり
※回答者からいただいた具体的な意見等については、資料編 15～23ページ参照

第1回小学校区別まちづくり座談会 開催結果

1 目的

地域まちづくり計画の策定過程において、住民とともに地域の課題や目指すべき将来像、地域自らが取り組むべき具体的活動内容等を明らかにし、共通理解を得ることを目的に、地区担当職員及び湖東小学校区並びに新島小学校区の協議会委員等による座談会（ワークショップ）を開催した。

また、座談会を契機に、改めて今後の協議会活動への理解・協力を求めた。

2 参加者

協議会の委員（区長、民生委員、各種団体代表者、知識経験者等）及び地区担当職員

3 内 容

次のテーマについて、10名程度のグループに分けて、意見をカードに記入し貼り付けるなどしながら、まちづくり全般について日頃思っていることなどを話し合った。

テーマ1：湖東及び新島各地域の現状と課題について

テーマ2：湖東及び新島各地域及び新島地区全体の将来像について

4 開催日時・場所

	日 時	場 所
地区担当職員	2月14日（火）午後6時～	市役所 504会議室
湖東小区	2月24日（金） 午後6時～午後8時	八筋川公民館
新島小区		新島小学校 家庭科室

第1回小学校区別まちづくり座談会での主な意見

■気になる現状

【防災・防犯】

- ・不審者情報が寄せられる
- ・空き巣被害が増えている
- ・災害時の対応に不安がある
- ・消防団員の不足が懸念される

【健康・高齢者福祉】

- ・高齢化が進んでいる（老人が多い）
- ・高齢者同士が集う機会、場所がない

【生活環境】

- ・ごみ出しのルールを守らない人がいる
- ・ごみのポイ捨て、不法投棄がある
- ・震災後、住環境が悪化した

【子ども・教育】

- ・少子化が進んでいる（子どもが少ない）
- ・子育て環境が悪化（施設が近くにない）
- ・子どもの学力低下、部活動が選べない

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・隣近所の交流が少なくなっている
- ・世代間や地区全体の交流の場が少ない
- ・地域活動を行う人が限られている

【産業・交通】

- ・農業者の高齢化、後継者不足が進行
- ・若者の雇用場所がなく、流出している
- ・交通が不便、車がないと生活できない

【歴史・文化】

- ・歴史や文化への関心が薄くなっている
- ・文化的活動が少ない

■好ましい現状

【防災・防犯】

- ・安全、安心に生活できる地域
- ・消防団による防災活動が進んでいる
- ・区で防犯パトロール隊を組織し、活動している

【健康・高齢者福祉】

- ・高齢者が元気に暮らしている
- ・高齢者のボランティア活動が盛ん

【生活環境】

- ・自然環境に恵まれた住みやすい地域
- ・各区で空き缶拾いや側溝清掃など環境美化活動に取り組んでいる

【子ども・教育】

- ・子どもは元気で、挨拶が良くてできる
- ・登下校付添いや声かけなど、子どもたちが安心して過ごせる

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・地域のまとまり、助け合いが強い
- ・各団体のまとまりが良く、活動が充実
- ・町内ごとの世代間の交流行事は実施

【産業・交通】

- ・十二橋、植物園など観光施設が多い
- ・JR、高速バスなど東京への便が良い
- ・交通事故が少ない

【歴史・文化】

- ・おらんだ楽隊が継続している
- ・地域の伝統行事が継承されている

■地域の将来像

【防災・防犯】

- ・安心、安全に暮らせる地域
- ・災害時に地域で団結して活動できる地域
- ・みんなで防災・防犯活動に取り組む地域

【健康・高齢者福祉】

- ・高齢者の笑顔があふれる地域
- ・高齢者を大切にする地域
- ・健康で生き生きと過ごせる地域

【生活環境】

- ・自然が豊かで、まちがきれいな地域
- ・また将来戻ってきたいと思える地域
- ・様々な生物が生息しやすい環境

【子ども・教育】

- ・安心して子育てできる環境づくり
- ・子どもの笑顔があふれる地域
- ・子どもをみんなで見守る地域

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・誰もが気持ちよく挨拶を交わせる地域
- ・住民交流の場がたくさんある地域
- ・地域のみんが活気のある地域
- ・いつまでも変わらない近所付き合いと声掛けのできる地域
- ・若者が積極的に地域活動に参加する地域

【産業・交通】

- ・若い人たちが地元に残って仕事ができるような地域づくり
- ・先祖代々の稲作を守っていける地域
- ・交通弱者も暮らしやすい地域

【歴史・文化】

- ・伝統文化の継承ができていく地域

■今後、取り組むべき活動

【防災・防犯】

- ・地区全体での防犯パトロールの実施
- ・防災、防犯に係る講習会の開催
- ・地区防災訓練の実施

【健康・高齢者福祉】

- ・高齢者が気軽に集まれる場の提供
- ・健康づくり教室の開催
- ・巡回健康相談

【生活環境】

- ・地区全体でのごみ拾いや清掃活動
- ・植栽、花いっぱい、クリーン作戦など定期的に環境美化に取り組む

【子ども・教育】

- ・子どもが一人で通学できるよう支援する
- ・地域で子どもの教育に取り組む
- ・昔の遊びや地域の歴史を子どもに伝える

【住民交流・地域コミュニティ】

- ・地区全体、世代を超えたイベント開催（地区大運動会、大盆踊り大会・・・）
- ・若者同士の交流機会の提供
- ・各種発表会や世代間交流会の開催
- ・十六島バレーボール大会など地区で集える機会、行事等の継続、充実

【産業・交通】

- ・特産品の開発
- ・農業生産者の育成
- ・農業活性化のための体制づくり
- ・農産物のPR、料理コンクールの実施
- ・高齢者等交通弱者の足の確保

【歴史・文化】

- ・区伝統行事等の地区合同開催
- ・文化祭、講演会等文化イベント開催

湖東・新島地域まちづくりアンケート調査の結果と分析

1 アンケートの概要

(1) 目 的

(仮称)湖東・新島地域まちづくり計画を策定するにあたり、地域住民一人ひとりの意見を反映させるため、本地域に在住する住民に対し、アンケート調査を実施した。

(2) 実施時期

平成24年2月～3月

(3) 実施主体

新島地区まちづくり協議会

(4) 対 象

湖東・新島地域に在住する高校生以上の住民

※2人以上の世帯は2部、単身世帯は1部調査票の記入を依頼

(5) 方 法

配布・回収とも各区区長を中心に実施した。

(6) 回答者数

区分	調査対象世帯数	回収票数
湖東小学校区	322	369
新島小学校区	691	747
計	1,013	1,116

(7) 集計結果記載方法

アンケートは、「選択方式」を採用しており、「複数選択」を可としている設問があります。その場合の比率は、回答者数に対する割合を表記しています。

問1. お住まいは？			問2 性別は？		
	回答数	割合		回答数	割合
八筋川	59	5.3%	男性	523	46.9%
本津	99	8.9%	女性	444	39.8%
大島	88	7.9%	無回答	149	13.4%
三島	76	6.8%	計	1116	100.0%
境島	47	4.2%	性別は、無回答が約13%あるものの、男性からの回答が女性を約7%上回っている。		
扇島第一	159	14.2%			
扇島第二	80	7.2%			
与田浦	23	2.1%			
扇島下の洲	50	4.5%	問3 年齢は？		
加藤洲第一	65	5.8%			
加藤洲第二	80	7.2%			
加藤洲下の洲	47	4.2%			
磯山	91	8.2%		回答数	割合
市和田	75	6.7%	16～18歳	11	1.0%
附洲新田	77	6.9%	19～29歳	37	3.3%
	1116	100.0%	30～49歳	207	18.5%
扇島第1区が14.2%、次いで、本津区、磯山区が8%を超えています。小学校区別では、湖東小区33%、新島小区67%と、世帯数の割合とほぼ同じ			50～64歳	449	40.2%
			65～74歳	182	16.3%
			75歳以上	92	8.2%
			無回答	138	12.4%
				1116	100.0%
			年齢別では、30歳以上の回答者の割合が9割以上で、29歳以下の回答は4%だった。		

問4 家族構成は？

	回答数	割合
単身	40	3.6%
夫婦のみ	150	13.4%
2世代(親と子)	428	38.4%
3世代(親と子と孫)	321	28.8%
その他	28	2.5%
無回答	149	13.4%
計	1116	100.0%

○2世代(親と子)で暮らす世帯が38%で最も多く、次いで、3世代(親と子と孫)で暮らす世帯が29%となっている。
○年齢別では、75歳以上の「単身」世帯の比率が14%あり、高くなっている。

問5 地域への愛着は？

	回答数	割合
強い愛着を感じる	239	21.4%
ある程度愛着を感じる	604	54.1%
あまり愛着を感じない	101	9.1%
愛着を感じていない	19	1.7%
無回答	153	13.7%
計	1116	100.0%

○全体の75%の方が地域に愛着を感じている一方で、愛着を感じていないと回答した方も10%いて、年齢が若くなるほどその率は高くなっている。

問6 住みやすさは？

	回答数	割合
住みやすい	540	48.4%
住みやすくない	248	22.2%
わからない	172	15.4%
無回答	156	14.0%
計	1116	100.0%

○「住みやすい」地域と回答した方は48%、「住みやすくない」と回答した方は22%である。
○50歳以上では半数以上が「住みやすい」と回答しているが、逆に、49歳未満の人で「住みやすい」と回答したのは、半数に至らず、年齢が若くなるにしたがって「住みやすい」と回答する人の割合が減っている。

問7 新島地区の治安は？

	回答数	割合
良い	501	44.9%
以前と比べ悪化	309	27.7%
わからない	157	14.1%
無回答	149	13.4%
計	1116	100.0%

○新島地区の「治安が良い」と感じているのは全体の45%で、「以前と比べ悪化している」と感じている人も27%いる。

問8 今後の居住予定は？

	回答数	割合
ずっと住んでいたい	485	43.5%
当面は住みたい	343	30.7%
いずれは他地域に移りたい	30	2.7%
わからない	96	8.6%
無回答	162	14.5%
計	1116	100.0%

○全体の74.2%の人が新島地区に住み続けることを希望している。
○「いずれは他地域に移りたい」と新島地区からの転出の意思をはっきりと示している人は、30人(2.4%)と少数である。

問10 まちづくり活動への参加は？

	回答数	割合
何事にも積極的に参加したい	39	3.5%
内容や頻度等によっては積極的に参加したい	291	26.1%
頼まれれば、可能な範囲で参加・協力したい	471	42.2%
関心がない	46	4.1%
わからない	76	6.8%
無回答	193	17.3%
計	1116	100.0%

○「積極的に参加したい」と回答した方が29.6%、「頼まれれば可能な範囲で参加したい」を含めると71.8%の人がまちづくり活動に参加・協力したいと感じている。

問9 地域の将来を考えるうえで、特に重視すべきことは？（複数選択）

	区 分	回答数	割合
1	震災、水害、火災などに対する防災体制の充実	587	52.6%
2	近所や地域のつきあい・助け合い	479	42.9%
3	通院や買い物等の“生活の足”（バスなどの交通手段）の確保	468	41.9%
4	住民が安全に暮らし、子どもたちが安心して学び遊べる地域防犯体制の充実	458	41.0%
5	地域で子どもたちを育み、安心して子育てできる環境づくり	337	30.2%
6	地域産業（農業等）の振興	303	27.2%
7	住民の健康維持や介護予防、生涯学習のための取り組み	257	23.0%
8	田園景観、水辺や緑などの自然環境の保全	251	22.5%
9	地域を担う人材の育成	202	18.1%
10	地域の清掃活動、ごみのポイ捨て解消などによる生活環境の改善	191	17.1%
11	地域の人々が相互の交流と理解を深めるための交流の場づくり	172	15.4%
12	人や産業など地域資源を活用した収益事業（コミュニティ・ビジネス）の創出	166	14.9%
13	地域に受け継がれた歴史や文化の保存・継承	123	11.0%
14	個人のプライバシー	109	9.8%
15	地域ぐるみの交通安全運動の充実	88	7.9%
16	ボランティア活動の推進	79	7.1%
	その他	19	1.7%

○全体では、「震災、水害、火災などに対する防災体制の充実」を求める人が52.6%いることから、日頃の防災訓練や災害時の援護体制づくりなどによる自然災害への不安解消の検討が必要と思われる。

○「近所や地域のつきあい・助け合い」を重視する人が45%、「住民が安全に暮らし、子供たちが安心して学び、遊べる地域防犯体制の充実」を重視する人が約41%いることから、地域内の誰もが顔見知りで、気軽にコミュニケーションが取れる地域社会(コミュニティ)の確立により、「安全・安心なまちづくり」、「安心して地域で子育てができる環境」などを求めているものと思われる。

○また、「通院や買い物等の“生活の足”(バスなどの交通手段)の確保」を重視する人が約42%、全体で3番目に多く現在、関鉄バスや市の循環バス等が地域内で運行されているが、これらのバスの運行に配慮(維持)しながら、特に、地域の高齢者や同居する家族にとって、最善な送迎方法を検討することがこれからの地域に求められることとなる。

3 新島地区の主な課題

新島地区の現況及び地域住民の意向等を踏まえ、新島地区におけるまちづくりの主な課題について整理します。

(1) 少子高齢化への対応

- ・湖東小学校では、児童数の減少により、複式学級となっています。
- ・結婚しない人が増え、少子化が進むことにより、今後、自治会や消防団などの地域活動の担い手不足が懸念されることから、地域を担う後継者やリーダーの人材育成を進める必要があります。
- ・高齢により自ら自動車を運転出来ない人が増え、通院や買い物等日常生活において不便さを感じる高齢者世帯が増えることが予想されます。

(2) 安心・安全な地域の創出

- ・子どもや高齢者などが犠牲となる犯罪や交通事故が全国的に発生していることから、地域で子どもや高齢者を犯罪や事故からどう守っていくか検討する必要があります。
- ・東日本大震災により、道路や農地、住宅など大きな被害を受けた地区であることから、地震や水害などの自然災害への住民の不安を解消していく必要があります。

(3) 健康・福祉・子育て環境の充実

- ・高齢者の見守りの体制や生きがい作りの場があまりありません。
- ・子育て世代の親子を支援する環境があまりありません。
- ・全国的に見て、生活習慣病や成人病、認知症などが増える傾向にあることから、健康診断の受診や運動不足の解消など健康づくりに関する意識を高めていく必要があります。

(4) 地域コミュニティの再構築・住民交流の促進

- ・地区全体で集まる機会や、子どもたちとの交流の機会が少なくなってきており、家庭や地域で互いに支え合う力“絆”が弱くなっています。
- ・特に若い世代の地域行事や地域活動への参加が少なく、地域に対する関心や愛着、地域内の住民交流がさらに薄れていくことが懸念されます。

- 地域内の行事など、今後も継続していくために、内容によっては、区の枠を越えた取組みの統合などを検討していく必要があります。
- 昔ながらの慣習が、地域へのわずらわしさと感じている住民も一部いらっしゃいます。

(5) 環境保全・地域産業の活性化

- ごみのポイ捨てや不法投棄、ごみの分別の不徹底が見受けられるなど、緑豊かな自然景観が阻害されることが懸念されます。そのため、豊かな自然の保全・活用を図るとともに、清掃や美化活動の推進が必要です。
- 農業従事者の高齢化や農業経営者が減少していく中で、今後、休耕田や耕作放棄地が増加していく事が予想され、農地環境の崩壊につながる恐れがあります。今後は、担い手や後継者の育成を進めていく必要があります。



4 香取市総合計画

「香取市総合計画」との整合を図るため、同計画の概要を整理します。

計画の構成と期間	基本構想：（初年度）平成20年度～（目標年度）平成29年度 基本計画：前期（20～24年度） 後期（25～29年度） 実施計画：単年度ごとの行動計画として作成
基本理念 （まちづくりの基本的な考え方	市民協働による 暮らしやすく 人が集うまちづくり ・「市民協働」とは、市民と行政が対等の立場で一緒になって考え、責任も共有しながら、ともに理想とするまちを築き上げていく取り組み。 ・「暮らしやすく」とは、基盤整備から環境、福祉など様々な意味で満足できる市民生活が送れることを目的とします。 ・「人が集う」とは、魅力あるまちづくりを推進することにより、定住人口の減少を食い止め、また交流人口の拡大を図る。
将来都市像	元気と笑顔があふれるまち 一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取 ・「元気」とは、躍動感のある経済活動、人と人との交流などを通じて、みんなで創り上げていく、活気・にぎわいのあるまちの様子 ・「笑顔」とは、安全安心な暮らしを満喫でき、人と人との心の交流、繋がりが強い、快適で潤いのあるまちの様子 ・「一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取」とは、全ての市民が充実感を抱き、輝きながら暮らしていける「誰もが憩えるふるさと」を目指します。
基本目標	I 豊かさが実感でき、活力ある産業を育むまちづくり II 人と自然が共有し、快適で安心して暮らせるまちづくり III 住み慣れた地域で誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくり IV 歴史と文化に包まれて、心豊かな人を育むまちづくり V 緑の中で、便利で暮らしやすい都市機能が充実したまちづくり VI 市民と行政がともに築く、自立したまちづくり

第3章 新島地区が目指す将来像

1 まちづくりの全体テーマ

新島地区の目指すまちづくりのテーマを次のように設定します。

■新島地区の現況

■地区住民の意向

■新島地区の主な課題

- 1) 少子高齢化への対応
- 2) 安心・安全な地域の創出
- 3) 健康・福祉・子育て環境の充実

- 4) 地域コミュニティの再構築
住民交流の促進
- 5) 環境の保全・地域産業の活性化

■香取市総合計画

【基本理念】“市民協働による 暮らしやすく 人が集うまちづくり”

【将来都市像】 “元気と笑顔があふれるまち”

一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取



【まちづくりの全体テーマ（将来像）】

誰もが住みやすく、安心・安全で

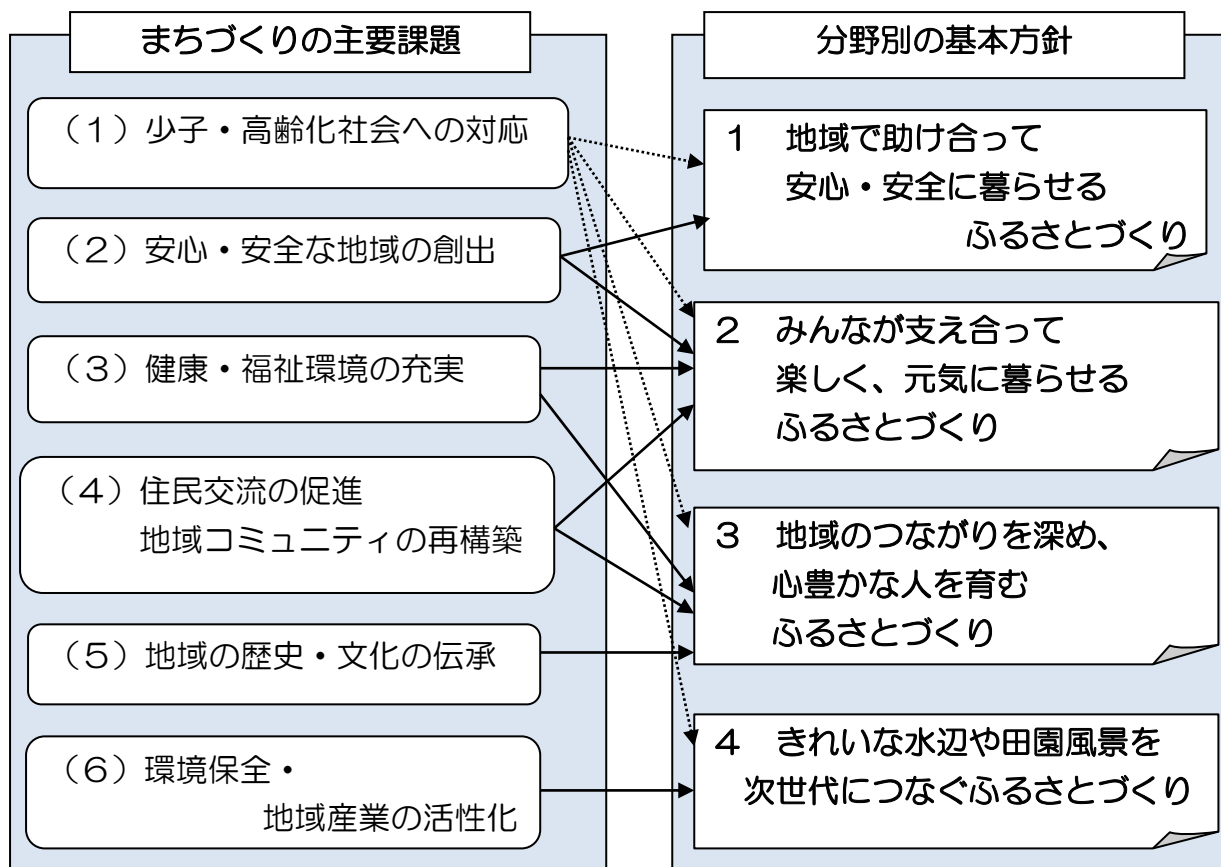
活気あふれる ふるさとづくり

2 分野別の基本方針及び活動目標

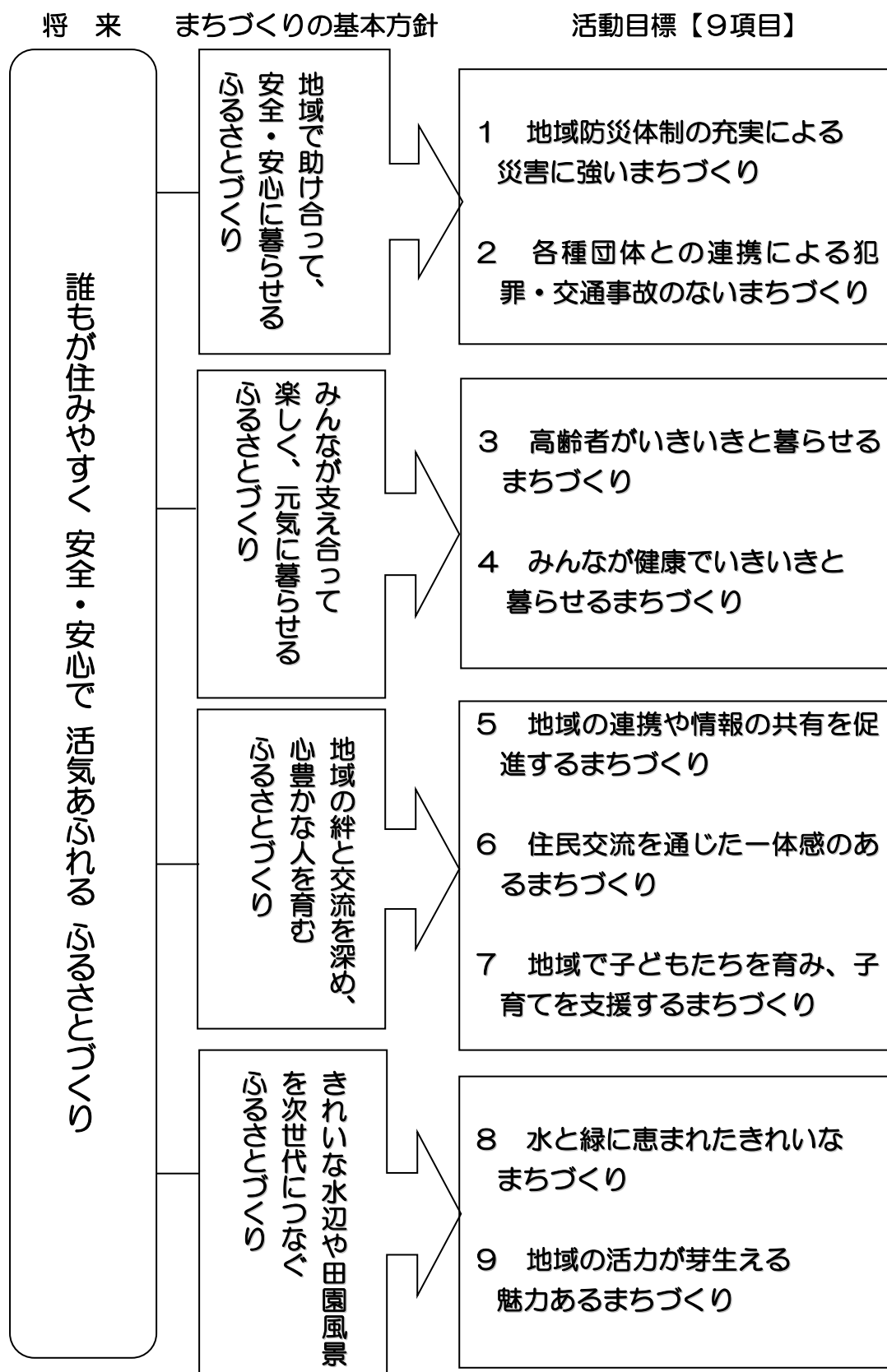
新島地区の将来像を達成するため、本協議会が取り組むべき内容について、アンケート調査やまちづくり座談会での住民の皆さんからの意見をもとに、次の4つの分野別の基本方針及び9項目の活動目標に整理しました。

- 1 地域で助け合って、安心・安全に暮らせるふるさとづくり
(防災・防犯)
- 2 みんなが支え合って楽しく、元気に暮らせるふるさとづくり
(高齢者福祉・健康・生涯学習)
- 3 地域のつながりを深め、心豊かな人を育むふるさとづくり
(交流・教育・地域コミュニティ)
- 4 きれいな水辺や田園風景を次世代につなぐふるさとづくり
(環境・産業)

■新島地区の主な課題と分野別基本方針の関係



■ 計画の体系と基本施策



第4章 将来像の実現に向けた施策

1 基本方針、活動目標及び基本施策

基本方針Ⅰ

地域で助け合って、安心・安全に暮らせるふるさとづくり
【防災・防犯】

災害や犯罪に強いまちづくりを推進していくには、行政だけでは限界があることから、地域における防災・防犯体制を強化するとともに、日頃から防災意識を高め、次のとおり地域ぐるみの防災・防犯活動に取り組みます。

☆活動目標1：地域防災体制の充実による災害に強いまちづくり

防災訓練や講習会を開催するなど、地域住民の連携と協調が図れる災害に強い地域づくりを展開します。

基本施策と活動例	関係団体
①防災意識の啓発 防災に関する講習会や防災訓練の実施、啓発資料の配布などにより、防災意識の高揚を図ります。 【活動例】 ・地区防災訓練（または防災運動会）の実施	連合自治会、 消防団、学校 PTA、住民、 行政、等
②自主防災組織の整備 各区における自主防災組織の設立を推進し、防災訓練、防災資機材の点検、防災パトロール等の自主防災活動を積極的に支援します。	区（連合自治会）、消防団、 行政、等
③安心・安全のためのマップづくり 現地調査をもとに、地域内の防災・防犯や交通の注意箇所などの把握を行うとともに、「校区あんぜんマップ」を作成し、各世帯に配布します。	区（連合自治会）、消防団、 住民、等
④災害時の援助体制づくり 地域内の一人暮らしや高齢者世帯などの災害弱者に対する支援・協力体制づくりを行います。 【活動例】 ・災害時要援護者登録制度の検討 ・地域間緊急連絡体制の整備、災害マニュアルの作成	区（連合自治会）、民生委員、 高齢者クラブ、 住民、等

☆活動目標２：各種団体との連携による犯罪・交通事故のないまちづくり

一人ひとりの防犯意識及び交通安全意識を高め、誰もが安全に暮らせる、犯罪や交通事故のないまちづくりを行います。

基本施策と活動例	関係団体
①通学時見守り活動の推進 子どもたちの通学時の見守り活動を地域で行い、安心して通学できるようにするとともに、子どもと地域の方々との交流を深めます。 【活動例】 ・登下校見守り隊、わんわんパトロール隊の結成・活動支援 ・「子ども１１０番宅」の設置協力の呼びかけ	PTA、学校、高齢者クラブ、住民、等
②防犯パトロール活動の推進 青色回転灯装着車の利用や“散歩パトロール”の実施など各種団体や住民の連携による防犯パトロールを実施します。 【上記以外の活動例】 ・防犯パトロール隊の結成、活動支援 ・散歩パトロール協力の呼びかけ	区（連 合 自 治 会）、各種団体、住民、警察、等
③防犯意識の啓発 防犯に関する講演会の開催や啓発資料の配布、標語の募集、立て看板の設置などにより、防犯意識の高揚を図ります。	住民、警察、行政、 等
④交通安全意識の啓発 学校や保育所、高齢者を対象とする交通安全教室の開催や立て看板の設置など交通安全意識高揚を図ります。	保育所、小中学校、PTA、高齢者クラブ、住民、警察、行政、等
⑤（再掲）安心・安全のためのマップづくり 現地調査をもとに、地域内の防災・防犯や交通の注意箇所などの把握を行うとともに、「校区あんぜんマップ」を作成し、各世帯に配布します。	区（連 合 自 治 会）、住民、警察、行政、 等

基本方針Ⅱ

みんなが支え合って楽しく、元気に暮らせるふるさとづくり 【高齢者福祉・健康・生涯学習】

急速な少子高齢化に対応していくため、住民一人ひとりが持つ温かい心が重なり合い、広がるよう住民相互の交流と理解を深めながら、高齢者福祉や健康づくりなど地域みんなで支え合い、助け合う体制づくりに取り組みます。

☆活動目標３：高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

高齢者やその家族が安心して生活できるように、地域ぐるみで高齢者福祉を推進するとともに、移動手段の確保について検討します。

基本施策と活動例	関係団体
①高齢者のふれあいの場づくり 高齢者が気軽に自由に集まり、談話や将棋などができる交流の場づくりを支援するとともに、地域の方々との交流を深めます。 【活動例】 定期的な高齢者の交流機会の提供 (高齢者サロンの開設、運営支援 など)	区（連合自治会）、民生児童委員、高齢者クラブ、住民、等
②高齢者の見守り活動の推進 一人暮らし高齢者等の見守り活動について研究し、地域全体の取り組みを進めます。 【活動例】 - 高齢者世帯への声かけなど見守り活動の実施 - 高齢者福祉活動に係るボランティア育成、支援	区（連合自治会）、民生児童委員、高齢者クラブ、住民、行政、等
③高齢者等の移動手段の確保 通院や買い物等生活するうえで必要な場所の移動においては、行政と連携を図りながら、地域内で高齢者等の交通弱者の移動が確保できるような仕組みを考える。 【活動例】 行政との連携による循環バスや乗合タクシー運行の検討	区（連合自治会）、住民、行政、等

☆活動目標４：みんなが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

健康づくりや生涯学習の機会を提供することにより、住民誰もが健康で生きがいや充実感を持って暮らせるようにします。

基本施策と活動例	関係団体
①健康維持・介護予防等の意識啓発 健康教室の開催や啓発資料の配布等により、健康づくりや介護予防などに対する住民の意識の高揚を図ります。 【活動例】 ・ 専門家による講演会、健康講座及び勉強会などの開催 ・ 健康診断受診率向上に係る各種活動	区（連 合 自 治 会）、各種団体、住民、行政等
②健康づくりの実践の場づくり ウォーキング、グラウンドゴルフなど気軽に取り組める健康づくりの実践の場づくりを支援し、住民の健康増進を図ります。 【活動例】 ・ 健康スポーツ教室、健康体操、健康料理教室などの開催 ・ 地区内ウォーキングマップの作成	区（連 合 自 治 会）、各種団体、住民、行政等
③生涯学習を支援する仕組みづくり 誰もが気軽に参加できる趣味の講座を開設し、それをきっかけにサークル化に結び付けたり、発表の機会や場を設けるなど、趣味を通じた仲間づくりを支援します。 【活動例】 ・ 趣味教室、地区文化祭（展覧会・物産展）の開催 ・ 地区文化（趣味）サークルの立上げ	連合自治会、各種団体、住民、等

基本方針Ⅲ

地域の絆と交流を深め、心豊かな人を育むふるさとづくり 【交流・教育・地域コミュニティ】

地域内での様々な交流や対話の機会を提供することにより、住民とのふれあいや信頼関係を育むとともに、地域で子どもたちを育み、安心して子育てができる環境を創出します。

☆活動目標5：地域の連携や情報の共有を促進するまちづくり

区や各種団体の連携体制をさらに強化するとともに、情報の収集・発信を積極的に行うことにより、地域への関心を高め、地域一体となるまちづくりを進めます。

基本施策と活動例	関係団体
①区、連合自治会や各種団体との連携の強化 連合自治会や各種団体との意見交換を定期的に行い、各団体の活動計画・実績をもとに、地区全体の活動調整を行います。 【活動例】 ・地区別（小学校区別）まちづくり懇談会の開催 ・地域活動カレンダーの作成	区（連合自治会）、各種団体、住民、等
②地域情報の収集・発信 地域情報の収集・発信を行うことにより、協議会の活動を周知するとともに、情報の共有化を図り、相互理解を深めます。 また、各団体のみならず、各区の行事や住民からの投稿なども掲載した広報紙の発行を目指します。 【活動例】 ・住民からの投書箱（目安箱）の設置 ・住民参加型広報紙の作成、発行 ・ホームページ等の開設	区（連合自治会）、各種団体、住民、等

☆活動目標6：住民交流を通じた一体感のあるまちづくり

住民同士の交流の機会を提供し、多くの住民が参加することにより、地域住民相互の交流と相互理解を深めます。また、地域の伝統文化を継承することにより、地域の理解と愛着を深めます。

基本施策と活動例	関係団体
①住民交流事業の開催 地域のあらゆる人が参加しやすい住民交流イベントを開催・支援することにより、住民相互の交流を深めます。 【活動例】 ・地区夏祭り（盆踊り）、音楽祭、花祭り、郷土料理教室、女性の集い、若者の集い 世代間交流イベントなどの開催	連合自治会、各種団体、住民、等
②スポーツ・レクリエーション活動の推進 スポーツ・レクリエーション活動を推進し、各自の健康と体力を増進します。 【活動例】 ・各種スポーツ大会、地区大運動会の開催 ・小中学校運動会への地域住民の支援及び参加	区（連合自治会）、各種団体、住民、等
③子どもたちとの交流の推進 地域住民が趣味や特技等を生かした子どもを対象とする地域講座を開設するなど世代を通じ交流を深める事業を実施します。 【活動例】 ・昔の遊び教室、手作り玩具教室などの開催 ・親子スポーツ（ドッジボール・ソフトボール）大会の開催	区（連合自治会）、スポーツ少年団、高齢者クラブ、小中学校、PTA、住民、等
④伝統文化・行事の保存・継承 地域の歴史・伝統芸能や伝統行事を次世代につなぐため、記録し、伝え、地域の愛着と誇りを育みます。 【活動例】 ・伝統行事等の映像記録づくり	区（連合自治会）、各種団体、住民、等

☆活動目標7：地域で子どもたちを育み、子育てを支援するまちづくり

地域で子どもたちを育み、安心して子育てができる環境を創出するとともに、世代間交流等を通して地域住民とのふれあいや信頼関係を育みます。

基本施策と活動例	関係団体
①地域教育活動の推進 地域ぐるみで子どもたちを育てていく事業を通じて、住民相互のふれあいや相互理解を深め、信頼関係を育み、安心して子育てができる環境を整えます。 【活動例】 ・教育、学校、子ども等をテーマとした講演会の開催 ・子ども塾（マナー・学力アップ）の開催 ・子育て、青少年健全育成に係る看板、のぼり旗等の設置	PTA、スポーツ少年団、小中学校、青少年相談員、子ども会、住民、等
②子どもたちの地域参加の推進 ごみ拾いなど、ふるさとを良くしたいという気持ちから子どもたち自らが自分たちにできることを考え、取り組むことを家庭・地域・学校の三者が連携し、支援します。 【活動例】 ・小中学生による定期的清掃美化活動、花植え運動、高齢者や保育所児童との交流 など	区（連 合 自 治 会）、小中学校、PTA、住民、等
③子育て支援の充実 子育ての悩みを共有したり、親世代も一緒に学べる、気軽に親子が集まれる機会（場）を提供することによって、安心して子育てができる環境づくりを行います。 【活動例】 ・子育てサークルの結成 ・親（子）の集いの開催 ・小学校4年生以上の学童一時預かりボランティア	民生児童委員、母子福祉協力員、保育所、高齢者クラブ、住民、等

基本方針Ⅳ

きれいな水辺や田園風景を次世代につなぐふるさとづくり 【環境・産業】

豊かな自然環境を守り、次の世代に伝えるため、水辺や農地などの自然環境保全活動や環境美化を進めるとともに、地域産業（農業）の振興を図ります。

☆活動目標８：水と緑に恵まれたきれいなまちづくり

与田浦などの美しい水辺環境や広大な田園風景などの豊かな環境資源を地域住民の財産として次の世代に引き継いでいく暮らしを進めていきます。

基本施策と活動例	関係団体
①環境保全運動の推進 ふるさとをきれいにすることによって、住みよいまちづくりと地域住民の交流を深めます。 【活動例】 ・クリーン作戦（定期的美化清掃活動）の実施 ・通学路等の草刈り、障害となる木枝の伐採 ・花づくり、植樹運動の実施 ・野鳥などの自然観察会、体験イベントの開催	区（連 合 自 治 会）、各種団体、住民、等
②リサイクル活動の推進 資源ごみ回収や不用品の再利用等のリサイクル活動を推進することにより、ごみの減量化と併せ、まちづくり活動の財源を確保します。 【活動例】 ・小中学校廃品回収活動の支援 ・バザー、フリーマーケットの開催	区（連 合 自 治 会）、ＰＴＡ、住民、行政、等
③不法投棄防止運動の実施 定期的な巡回、監視、ＰＲ等を行い、不法投棄やごみのポイ捨ての防止を図ります。 【活動例】 ・ポイ捨て禁止運動の展開（マナー向上運動）	区（連 合 自 治 会）、住民、等

☆活動目標9 地域の活力が芽生える魅力あるまちづくり

新島地区の主産業は農業ですが、取り巻く環境は厳しいものがあります。

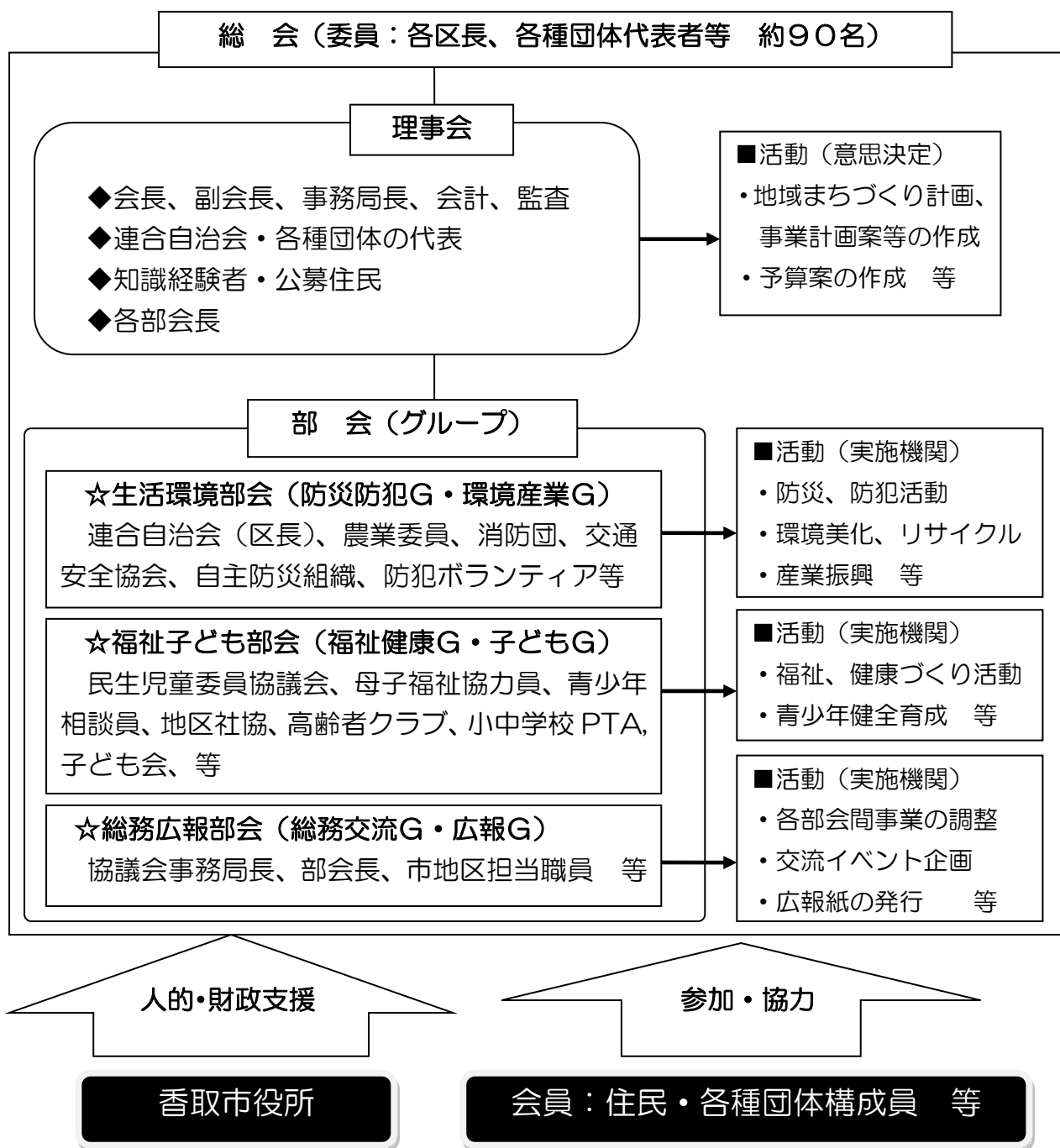
今後は、青空市の開催や農業交流等を通じ、活力のある地域づくりを展開し、多様な地域資源を生かした魅力ある農村を形成していきます。

基本施策と活動例	関係団体
①農地環境の保全 農地・水・環境の事業をうまく活用しながら、地域ぐるみで農地や環境を保全するとともに、遊休農地等の有効活用を図ります。 【活動例】 ・農地・水・環境保全団体等と連携した環境保全事業の実施 ・遊休農地を活用し、農業を通じた住民交流事業の実施	農地・水・環境保全団体、事業者、住民、等
②地域産業（農業）の振興 地産地消の推進、特産品の開発研究などにより地域産業の振興を図ります。 【活動例】 ・各種地域行事などと連携した青空市などの開催 ・郷土料理や地元農産物を利用した料理コンテストの開催	事業者、住民、行政 等
③農業後継者の育成・新たな農業の担い手の確保 農業後継者の育成や新たな農業従事者を受け入れる体制を構築するなど、地域ぐるみで農作業に従事しやすい体制づくりを行います。 【活動例】 ・農機具の共同管理、農作業の受委託制度 等の検討	事業者、住民、行政、等
④コミュニティビジネスの検討 農業、食品加工、高齢者福祉、子育て、観光など各分野の取組みにおいて、地域資源を有効活用したコミュニティビジネスの立上げについて検討します。 【活動例】 ・観光資源の再発掘による交流人口の拡大施策の検討 ・コミュニティビジネスに関する勉強会の開催	事業者、住民行政、等

2 推進体制

新島地区まちづくり協議会は、地域の課題解決のために、地区内の住民や各種団体が話し合い、調整、実践していく場として位置づけ、住民や各種団体等が互いの持ち味を活かしながら、横につながり合い、将来像や活動目標の実現に向けて、協働で計画を推進していきます。

■新島地区まちづくり協議会の組織構成図



おわりに

平成18年3月の合併により、香取市の行政区域は拡大しましたが、各地区においては、自治会や各種団体が主体となり、まちづくりに取り組んできた地域性があります。

まちづくり協議会（住民自治協議会）は、それらの地域性を尊重し、住民の皆さんが自発的に地域の課題に取り組むことができる仕組みであります。

住民アンケートでの回答の中には、災害時どう対応したらいいのかわからない、一人暮らし高齢者の生活が心配、通学路が危険、ゴミのポイ捨てが目立つなど、住民の方々から地域の課題について多くの意見をいただきました。

これらを地域の課題として捉え、新島地区一体となって考え、行動し、また行政と役割分担しながら連携・協力して地域課題を解決したり、地域の明るい将来を実現させるのがまちづくり協議会です。

『新島地区まちづくり協議会』は、本計画書に基づき、新島地区の目指す将来像の実現に向けて、住民どうしの絆を深め、皆さんの知恵と力をお借りしながら、今後の活動を進めたいと思いますので、住民の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。